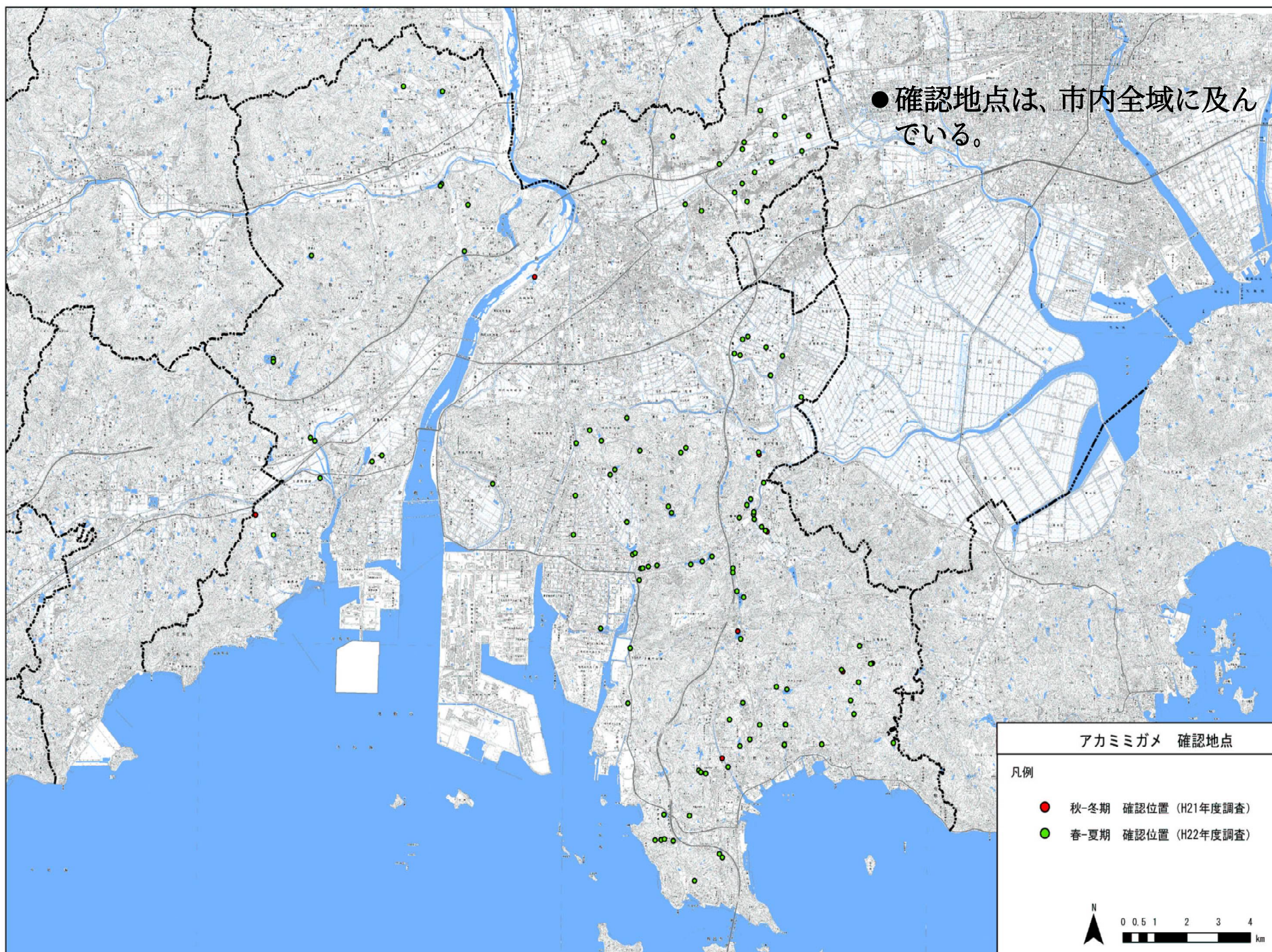
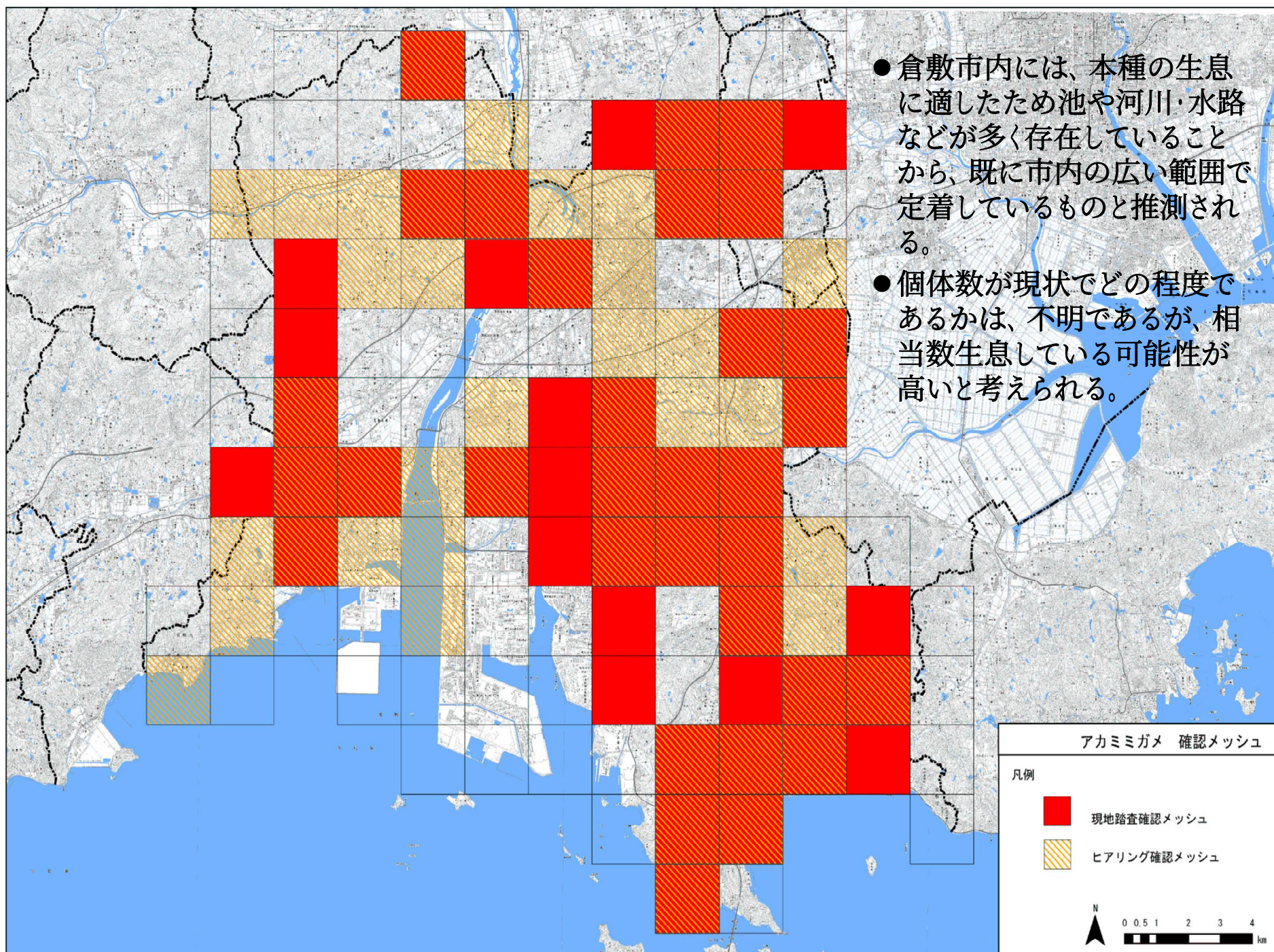


＜アカミミガメ＞

- ・ 資源の競合や捕食により、在来のカメ類を駆逐している。
- ・ 雑食性で、在来のカメ類以外にも、水生植物、魚類、両生類、甲殻類等に大きな影響を及ぼしていると想定される。
- ・ 要注意外来生物。





<アメリカザリガニ>

- ・ 水生昆虫、小魚、動物の死骸などの様々な小動物や水草を捕食するので、希少動植物への影響が懸念されている。
- ・ 要注意外来生物。

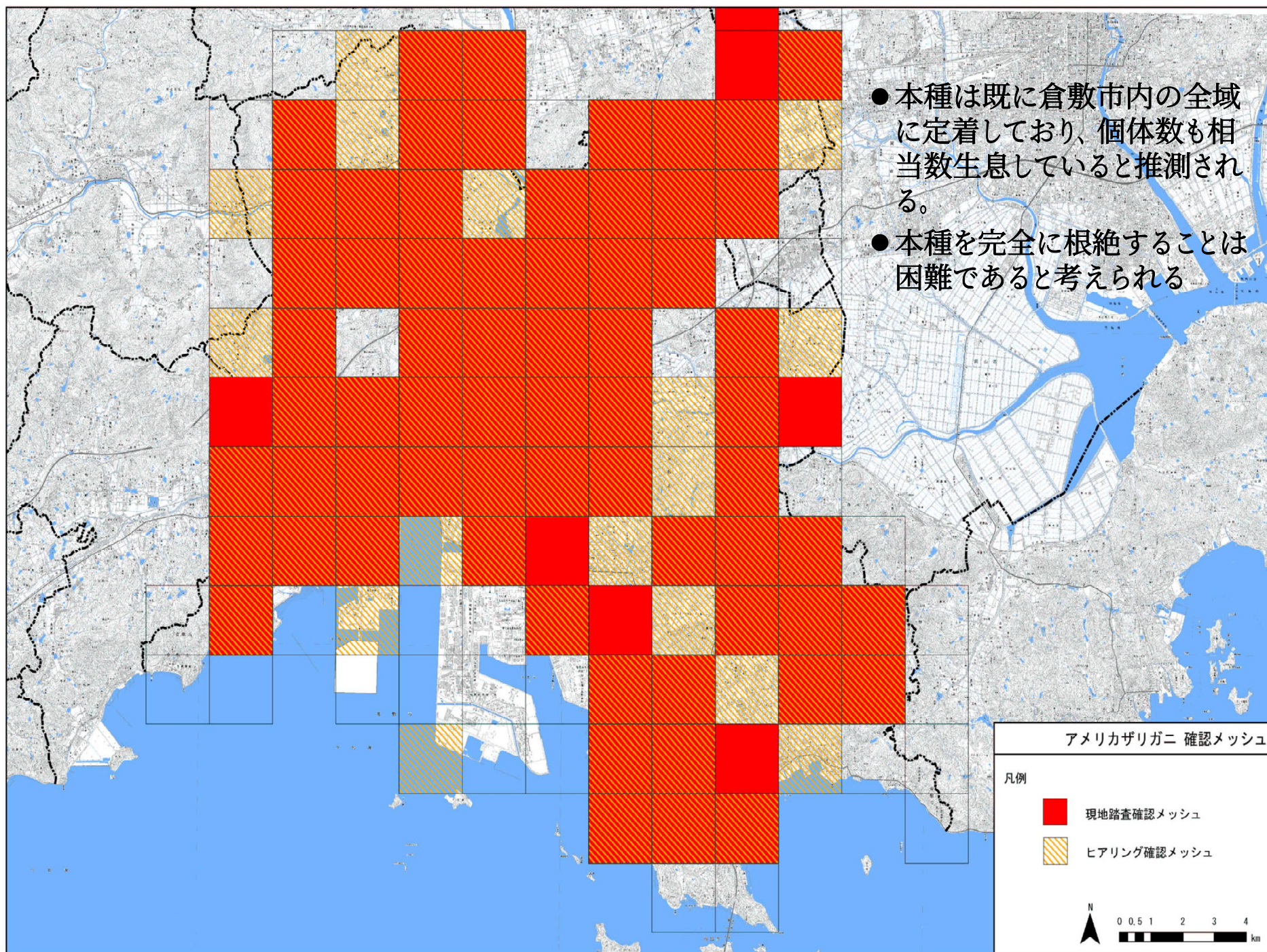
● 確認地点は、市内全域に及んでいる。

アメリカザリガニ 確認地点

凡例

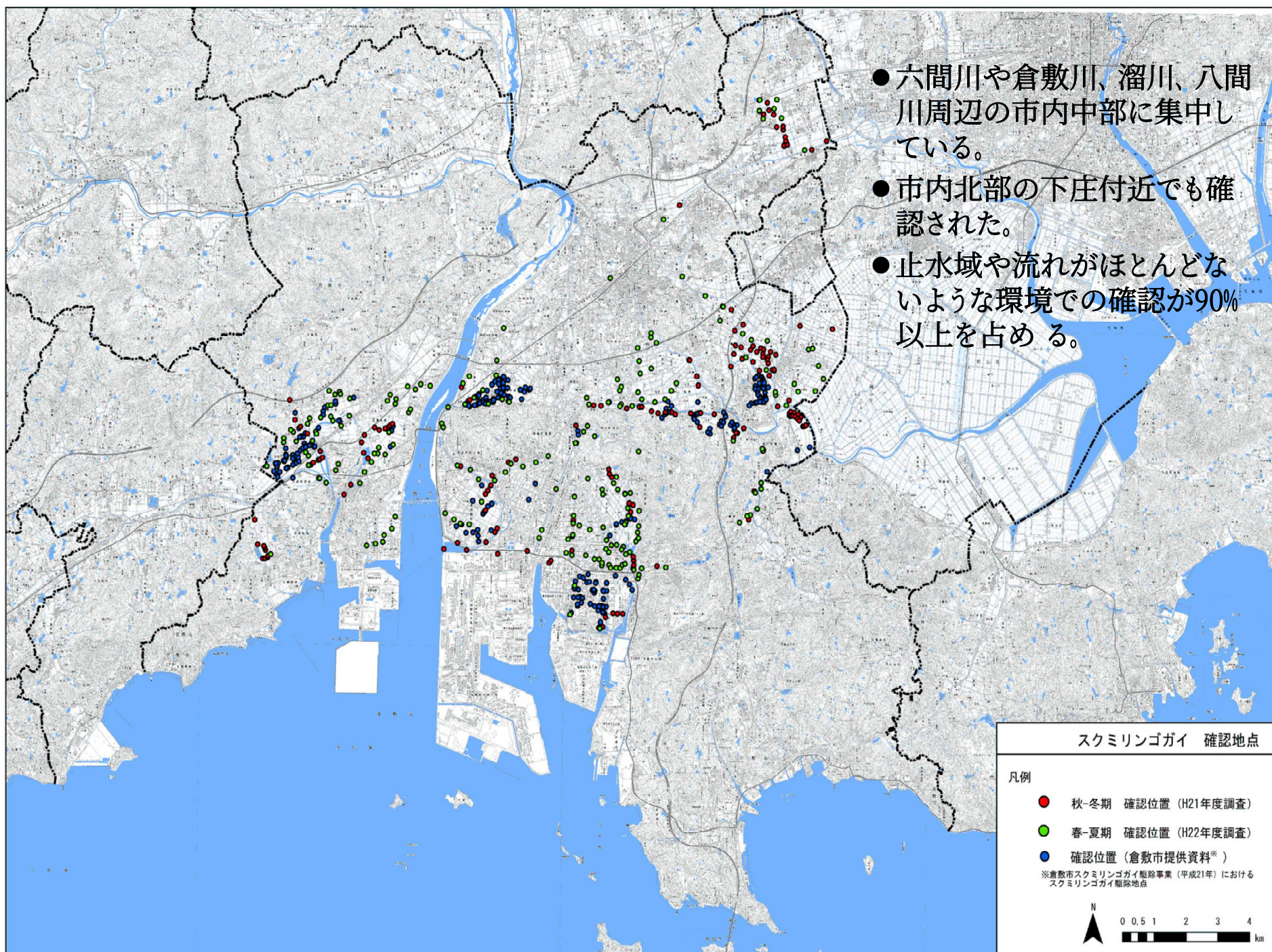
- 秋-冬期 確認位置 (H21年度調査)
- 春-夏期 確認位置 (H22年度調査)

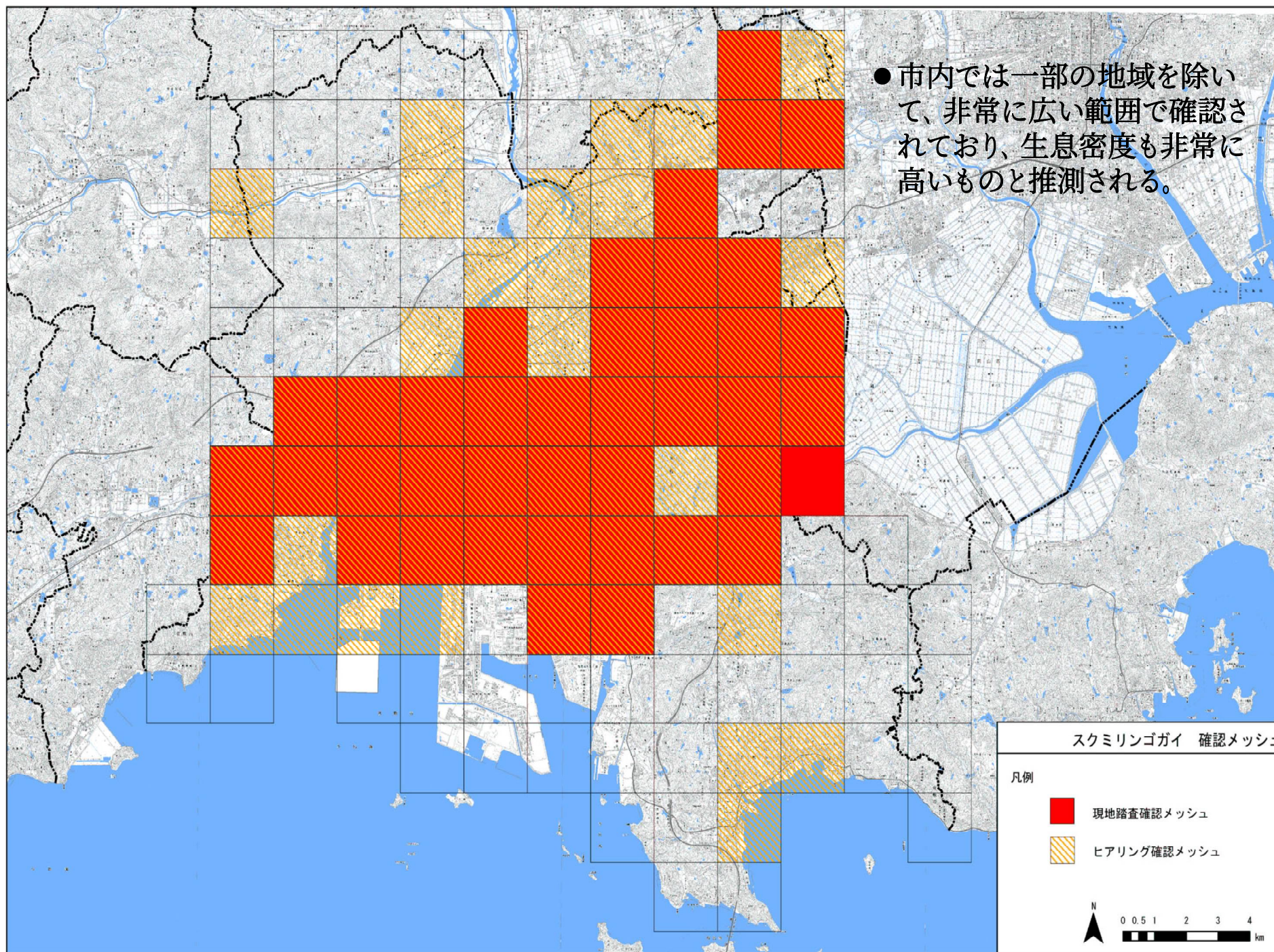




<スクミリンゴガイ>

- ・九州を中心に稲やレンコンなどへの食害が起きている。
- ・エサを巡る競争などにより、在来巻貝を含む水生生物に影響を与えているおそれがある。
- ・沖縄では広東住血線虫の寄生が確認されており、人体への影響も懸念されている。
- ・要注意外来生物。





＜台湾ンシジミ種群＞

- ・ 雄性発生で精子側の遺伝子のみが遺伝するため、台湾ンシジミの精子をマシジミが吸い込んで受精すると、幼生はすべて台湾ンシジミになる。
- ・ マシジミの生息地で台湾ンシジミが見つかり、3～4年でマシジミが消失し、台湾ンシジミに置き換わる事例が報告されている。
- ・ 要注意外来生物。

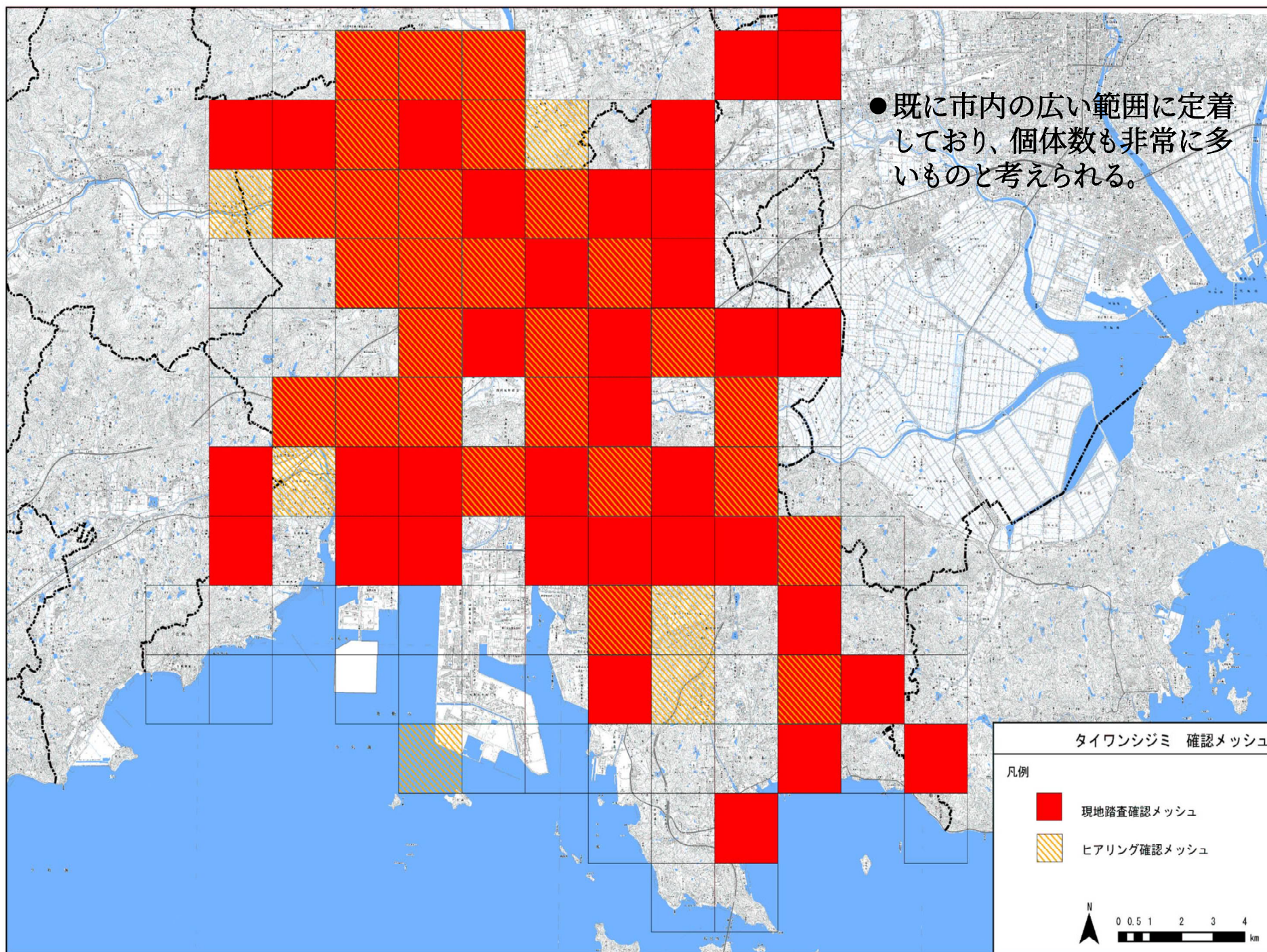
● 市内に広く分布しており、倉敷市内北部から中部にかけて確認地点が多く、特に小田川では、突出して確認個体数が多くなっている。

台湾シジミ 確認地点

凡例

- 秋-冬期 確認位置 (H21年度調査)
- 春-夏期 確認位置 (H22年度調査)





<ホテイアオイ>

- ・ 水面を覆い尽くして光を遮るので、水生生物全体への影響が大きい。
- ・ 水路の水流を滞らせたり、船舶の運航や漁業の障害になったりしている。
- ・ 要注意外来生物。

